



わたしが次の世代に伝えたいかまくら  
「成就院前極楽寺坂切り通し」  
撮影者：長嶋 竜弘

## 2月定例会開催

# 平成17年度予算を可決 —学校の安全対策の充実など意見を付す—

### 2月定例会の動き

- 3名の議員が一般質問を行う……2面
- 意見書1件を提出……2面
- 決議1件を可決……2面
- 平成17年度予算を可決……3面
- 議決した議案……6面
- 陳情1件を不採択……6面

### 写真を募集しています！

鎌倉市議会広報委員会では、「かまくら議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

メインテーマ：

「わたしが次の世代に伝えたいかまくら」

ご応募いただいた写真の中から、議会広報委員会で選定の上、次号（8月1日発行予定）に掲載します。ご応募をお待ちしております。

なお、詳しい応募方法は2面に掲載しています。また、議会事務局でも受け付けていますので、お問い合わせください。

電話 0467(23)3000 内線2448

### 主な議案の議決結果

議案	議決結果	会派名						
		民 政	共 産	同 志	公 明	ネ ット	改 革 無 所 属	
平成17年度一般会計予算	可決	○	●	○	○	●	※1 ○	※2 ○
平成17年度下水道、大船駅東口市街地再開発、国民健康保険、介護保険事業の各特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○
その他の平成17年度特別会計予算（2件）	可決	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
職員定数条例の一部改正	可決	○	●	○	○	○	○	○
鎌倉市教育委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
議員等の行政運営に係る要望等の手続に関する条例の制定	否決	●	●	●	●	●	○	○

○賛成 ●反対

※1…1名退席しました ※2…2名退席しました

《各会派の所属議員は次のとおりです》

民政（民政クラブ）：和田猛美、大村貞雄、中村聡一郎、古屋嘉廣、助川邦男、澁谷廣美

共産（日本共産党）：吉岡和江、小田嶋敏浩、児島 晃、赤松正博、清水辰男

同志（鎌倉同志会）：伊東正博、野村修平、白倉重治、嶋村速夫

公明（公明党）：福岡健二、藤田紀子、大石和久

ネット（ネットワーク鎌倉）：前田陽子、三輪裕美子、森川千鶴

改革（改革鎌倉）：伊藤玲子、松尾 崇

無所属：千 一、高橋浩司、岡田和則、松中健治

# 一般質問

2月定例会では3名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、左の表のとおり質問を行いました。ここではその一部を掲載しました。詳しくは6月上旬に発行予定の本会議録を図書館などでご覧ください。また、インターネットでも本会議録がご覧いただけますので、ご利用ください。

## 行財政改革について

本市では、平成十六年一月に組織運営における基本的な方針を、同年五月には事務事業に対する公的関与の点検指針を策定し、事務事業の見直しを行ってまいりました。また、財政力の向上に向けた取り組みの一つとして、平成十一年度から六年間で職員数を二百七十七人削減する職員数適正化計画を策定し、これを一年前倒しで達成しました。現在十七年度から六年間を計画期間とする第二次職員数適正化計画の策定に取り組むなど、行財政改革の推進に努めています。

本市では、平成十六年一月に組織運営における基本的な方針を、同年五月には事務事業に対する公的関与の点検指針を策定し、事務事業の見直しを行ってまいりました。また、財政力の向上に向けた取り組みの一つとして、平成十一年度から六年間で職員数を二百七十七人削減する職員数適正化計画を策定し、これを一年前倒しで達成しました。現在十七年度から六年間を計画期間とする第二次職員数適正化計画の策定に取り組むなど、行財政改革の推進に努めています。

このように委託を進めているように考えているのか、聞きたい。  
部長：資源再生部としては、次に名越クリーンセンターの施設部門の委託化を考えている。収集部門の可燃ごみの委託化については、地域別でやるのか、ごみの種類別でやるのか課題がある。さらに、収集部門の委託化となると、余剰人員が出てくるので、その人員をどう活用するのか全庁的な検討が必要と考えている。

部長：市民要望の中には、現業的な要望も多いことから、業務委託に伴って配置換えが必要となった技能労働職員のなどを有効に活用して、現業的要望に即対できるよう、平成十八年度に向けて、現業組織の見直し、一元化について関係課と協議をしている。  
質問：ごみ清掃などの仕事に従事することに対して支給される特殊勤務手当だが、原局からもらった資料では、四十四項目中三十二項目が廃止案となっている。案ができたから早く実施してもらいたいのか、なぜ早く実施に移らないのか、聞きたい。  
市長：特殊勤務手当の見直しは平成十三年四月に職員団体等との合意が得られた三項目の廃止を含む六項目の見直しを行った。その他の項目は継続交渉となっていたが、実質的な交渉には至っていない。

このため、十六年十二月六日付で職員団体等へ再度提示し、現在交渉している。合意したものから順次実施していきたくないと考えており、できるだけ早く精力的に交渉していききたい。  
質問：現在、給与の暫定削減措置を実施しているが、この措置が平成十八年六月で終了する。その後はどうするのか聞きたい。  
市長：条例どおり十八年六月までが暫定期間と考えているが、本市の財政状況は依然厳しい状況が続いている。今後の財政状況を勘案しながら、その時点で他の方策も含めて具体的な対応を検討したい。  
質問：将来的に、職員の給与水準を県下において、どの程度にしようと考えているのか聞きたい。  
市長：本市の平成十六年度のラスパイレシ指数(※文末参照)は現在九七・〇で、県下十九市中十八位に位置している。地方公務員法の趣旨も踏まえ、

その時々さまざな要素、状況を勘案しながら、給与の適正化に努めていきたい。  
質問：市政執行に携わる責任者として、市長の行政運営における理念を聞きたい。  
市長：市民に身近な行政はできる限り、地方公共団体の権限と責任において担っていくべきものと考えている。その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果が上がるようにしなければいけないと考える。地方分権の理念に基づいて、職員一人ひとりの資質の向上を図りながら、より一層、市民の視点に立った、きめ細かい施策を展開し、市民の満足度を向上させることが肝要だと考えている。

※ラスパイレシ指数：各自治体の学歴別・経験年数別職員構成が国と同じと仮定して、その職員構成に応じた給料月額について国を一〇〇として比較したものである。  
かまくら議会だより1面写真の応募方法について  
1 メインテーマ：「わたしが次の世代に伝えたいかまくら」  
2 応募資格：市内在住、在勤及び在学の方  
3 撮影場所：鎌倉市内  
4 応募可能な写真：応募に際しては、現像した写真(L判以上)か電子データ(300万画素数以上で、JPEG形式)でお願いします。なお、撮影者本人が、被写体となった人物、建物の管理者などに、応募することの許可を得てください。  
5 応募方法：応募用紙(議会事務局にあります)あるいは、住所、氏名、連絡先、撮影場所及び写真のサブタイトルを明記したメモなどを同封し、議会事務局宛に郵送または持参してください。  
6 応募の選定：写真の選定については、議会広報委員会で行います。  
7 紙面への掲載事項：紙面には、(1)メインテーマ(2)サブタイトル(応募する方の写真に対するコメント。文字数は13字以内)(3)撮影者の氏名を掲載します。  
※応募いただいた写真は原則、返却していません。

高橋 浩司……○債務を削減する為に徹底した行財政改革を(アウトソーシングを中心に)  
千 ……○高齢の方、障害のある方の社会参加について○鎌倉における経済の活性化と観光都市鎌倉のバリアフリーについて○災害時の災害弱者対策について○市長が行うレスパイト事業は、重度心身障害児の学童保育をも含まれるものなのか○グループホームについて  
伊藤 玲子……○行財政改革の推進について○教育行政の諸問題について

市長：職員数適正化計画は、一年前倒しで目標を達成したが、類似団体と比較して、まだ職員数は多い状況だ。現在、行政評価アドバイザーや行革市民会議などからの意見を踏まえ、第二次職員数適正化計画を策定中だ。具体的手法としては、民間でできることは民間にゆだねることを基本とし、民営化、民間委託、指定管理者制度の活用をはじめ、公的サービスの提供主体として正規職員以外の多様な担い手の活用を図るとともに、技術職の専門職場以外への配置、技能労働職の一般職への転任などを行い、今後とも職員数の適正化に取り組みたい。  
質問：現在、資源再生部所管の今泉クリーンセンターは、施設部門を業務委託している。今後、資源再生部としては、

## 可決した意見書

議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、意見書を提出することができます。今定例会では、次の意見書を総員の賛成により可決し、鎌倉市議会として内閣総理大臣及び関係省庁などに送付しました。

### 郵政事業の民営化に関する意見書

郵政事業は、生活に必要不可欠な郵便、郵便貯金、簡易保険の基本的なサービスを全国の郵便局ネットワークを通じ、公平で廉価な料金で提供し、社会経済の発展、国民生活の安定及び福祉の向上に寄与してきたところである。  
今後、少子高齢化が進行する中で、郵便局の果たす役割や重要性は、地域に密着したコミュニティー、サービスの拠点として、さらに大きくなるものと考えられる。しかし、民営化されると、サービスの低下、郵便料金の値上げや、採算のとれない地域では郵便局の廃止も懸念される。  
このように郵政事業は、日常生活に深くかかわり、その影響は広い範囲に及ぶことから、民営化については慎重に対応する必要があり、民意に十分配慮し、国民生活及び利用者の立場から改革を推進すべきである。  
よって、国におかれては、郵政事業の果たす公共的かつ社会的役割の重要性を考慮し、次の点に留意し十分な検討を行うべきである。  
1 郵政事業がこれまで果たしてきた役割・成果や今後果たすべき役割を検証し、利用者や地域住民の視点に立って慎重な議論を深めること。  
2 今後の郵政事業の民営化については、生活や経済に及ぼすメリット、デメリットを明示し、財政投融资改革を含め、民営化の必要性及び将来の明確なビジョンについて広く国民に説明するとともに、十分な国民的議論を経て慎重に結論を出すこと。

## 可決した決議

議会は2月24日の本会議において、多数の賛成により次の決議を行いました。

### 少人数学級実現に関する決議

経済協力開発機構が昨年実施した国際学習到達度調査は、日本の子供たちの奥深くに隠されている学習への願いにこたえた教育への新たな努力の必要性を示唆している。  
他方、子供たちの世界で痛ましい事件が相次いで起こり、全国に憂慮の声が広がっている。これは、子供を取り巻く今日の状況の複雑さ、深刻さを衝撃的な形で噴き出したものであり、我々に対する重大な警鐘である。  
最近、鎌倉で、不登校児童、生徒が急増している。しかもその出現率が小学校では全国平均の1.4倍と高く、中学校でも増大傾向を示しており、これは軽視できない問題である。  
このような事態となっている原因や背景は複雑であり、その解決策は単純ではない。しかし、このような事態の中であればこそ、子供たち一人ひとりを大切に教育に一層の力を尽くすことが大切であることは言を待たない。そしてそのためには、行き届いた教育条件の整備、とりわけ少人数学級の実現が求められている。  
諸外国では、20人前後の教室で、協同的な学習を通じて基礎・基本を習得し、個性を磨き合う質の高い教育が行われており、注目を浴びている。文部科学省も昨年35人以下学級に道を開き、それを前進させる方向を示している。  
よって本議会は、市教育委員会が、昨年の成果を引き継ぎ、それをさらに前進させる立場から、少人数学級の実現に向けて教育条件の整備に努めるよう要請するものである。

# 平成17年度予算を可決 三項目に意見を付す

二月二十四日の本会議において、市長から平成十七年度の市政方針の説明が行われ、一般会計予算など十一議案が提出されました。提案された平成十七年度予算規模は、一般会計は五百三十五億八千六百万円（前年度対比八・五％減）で、六特別会計を加えた総額は千三百三億二千八百四十万円（同四・一％減。減税補てん債の借り換え分を除いた実質伸び率は、同〇・九％減）でした。

その見解をただしました。その後、採決に入り、一般会計及び下水道事業、大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、介護保険事業特別会計予算を多数の賛成により、老人保健医療事業、公共用地先行取得事業特別会計予算を総員の賛成により可決し、審査をすべて終了しました。

【保健医療福祉センターの早期建設】  
「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」が新たに行政計画として策定されたこととこれまでの保健医療福祉センター構想の検討経過を踏まえ、同センターを深沢地域の新しいまちづくりの大きな核の一つとして位置づけ、早期建設が図れるよう要望しました。

【学校の安全対策の充実】  
児童・生徒の安全を確保することが急務であることから、保護者や学校関係者の意見を十分聴取し、地域住民、関係機関との協議・調整を緊密にする中で警備の充実強化など、学校の安全対策について一層の努力を要望しました。

【自治会・町内会支援と地域社会の再生】  
地域社会における市民活動の重要性を十分理解し、自治会・町内会との連携を深め、地域社会自らの再生若しくは活性化が図れるよう、自治会・町内会などの特性や自主性に即した協力支援に積極的に取り組むよう要望しました。

【文化】  
文化・教養施設整備計画の策定及び実現方途の検討  
【都市環境を保全・創造するまち】  
創造するまち  
【みどり・公園】  
鎌倉中央公園拡大区域（公園）の整備  
【腰越・広町の保全・整備】  
近郊緑地特別保全地区の指定  
【緑の基本計画の見直し】  
緑地の買入れ（天神山緑地）  
緑地保全基金への積み立て  
【鳥獣保護管理対策の推進】  
【生活環境】  
ごみの分別収集システムの運営  
【容器包装プラスチック分別収集の全市実施】  
【落書き防止条例の施行】  
路上禁煙対策の実施  
【都市景観】  
景観重要建築物等の指定及び支援  
【健康福祉】  
ブックススタート事業の実施  
在宅子育て家庭訪問支援事業の実施  
○次世代育成支援対策推進事業の実施  
○小児医療費助成制度の拡充  
○子どもと家庭の相談室の設置  
○障害者地域作業所の設置運営支援

【歴史環境】  
文化を創造するまち  
【世界遺産一覧表への掲載の要請】  
【文化】  
文化・教養施設整備計画の策定及び実現方途の検討  
【都市環境を保全・創造するまち】  
創造するまち  
【みどり・公園】  
鎌倉中央公園拡大区域（公園）の整備  
【腰越・広町の保全・整備】  
近郊緑地特別保全地区の指定  
【緑の基本計画の見直し】  
緑地の買入れ（天神山緑地）  
緑地保全基金への積み立て  
【鳥獣保護管理対策の推進】  
【生活環境】  
ごみの分別収集システムの運営  
【容器包装プラスチック分別収集の全市実施】  
【落書き防止条例の施行】  
路上禁煙対策の実施  
【都市景観】  
景観重要建築物等の指定及び支援  
【健康福祉】  
ブックススタート事業の実施  
在宅子育て家庭訪問支援事業の実施  
○次世代育成支援対策推進事業の実施  
○小児医療費助成制度の拡充  
○子どもと家庭の相談室の設置  
○障害者地域作業所の設置運営支援

【障害児放課後・余暇支援事業の実施】  
特別養護老人ホームの整備  
○成人保健の拡充（歯周疾患検診）  
【学校教育】  
○学校施設耐震診断・補強事業  
○不登校対策の充実  
○児童への安全指導  
【青少年育成】  
○子どもの家開館時間の延長  
【スポーツ・レクリエーション】  
○こもれび山崎温水プールの運営事業  
○見田記念体育館の運営  
○スポーツ振興基本計画の策定  
○スポーツ施設予約システムの導入  
【地域安全】  
○既成宅地等防災工事費の助成  
○放置自転車対策事業の充実  
○安全・安心まちづくり事業の推進  
【観光】  
○公衆トイレの整備  
○消防団無線整備事業の拡充  
○消防団器具置き場の建設  
【市街地整備】  
○鎌倉駅周辺地区の整備  
○深沢地域国鉄跡地周辺の整備  
○大船駅東口市街地再開発事業の推進  
○大船駅周辺整備構想の推進  
【道路整備】  
○生活道路の整備（小袋谷こ線橋補強工事等）  
○岩瀬今泉周辺交通対策（測量調査等）の実施  
○小町踏切改修事業の実施  
【地域情報化】  
○電子申請の推進  
○電子入札システム共同運営事業の実施  
【産業振興】  
○産業振興計画の推進（商店街元気UP事業）  
○モデル商店街整備事業の実施

【予算等審査特別委員会審査】  
議会では、三月一日と二日の本会議において、新年度予算などに対する各会派の代表質問を行った後、議員十名で構成する予算等審査特別委員会（委員長 和田猛美議員、以下「委員会」という。）を設置し、その後三月二十三日まで七日間にわたって審査を行いました。

委員会では、市長が所信表明で述べている鎌倉固有の風土や市民生活はもとより、さまざまな施策の積み重ねにより醸し出される「鎌倉らしさ」をさらに磨き上げるとともに、新たな鎌倉の魅力の創造へ向けた、たゆまぬ努力を続け、次代を担う子どもたちへ継承していくことを基本とした、「子どもたちの未来のために」新生鎌倉創造予算の内容はどのようなものなのか、さらに第三次鎌倉市総合計画改定後実施計画の諸事業がどのように予算に盛り込まれているのか、事業の優先度や緊急度などの点に着目し、慎重に審査を行いました。

【学校安全対策の充実】  
児童・生徒の安全を確保することが急務であることから、保護者や学校関係者の意見を十分聴取し、地域住民、関係機関との協議・調整を緊密にする中で警備の充実強化など、学校の安全対策について一層の努力を要望しました。

【自治会・町内会支援と地域社会の再生】  
地域社会における市民活動の重要性を十分理解し、自治会・町内会との連携を深め、地域社会自らの再生若しくは活性化が図れるよう、自治会・町内会などの特性や自主性に即した協力支援に積極的に取り組むよう要望しました。

【文化】  
文化・教養施設整備計画の策定及び実現方途の検討  
【都市環境を保全・創造するまち】  
創造するまち  
【みどり・公園】  
鎌倉中央公園拡大区域（公園）の整備  
【腰越・広町の保全・整備】  
近郊緑地特別保全地区の指定  
【緑の基本計画の見直し】  
緑地の買入れ（天神山緑地）  
緑地保全基金への積み立て  
【鳥獣保護管理対策の推進】  
【生活環境】  
ごみの分別収集システムの運営  
【容器包装プラスチック分別収集の全市実施】  
【落書き防止条例の施行】  
路上禁煙対策の実施  
【都市景観】  
景観重要建築物等の指定及び支援  
【健康福祉】  
ブックススタート事業の実施  
在宅子育て家庭訪問支援事業の実施  
○次世代育成支援対策推進事業の実施  
○小児医療費助成制度の拡充  
○子どもと家庭の相談室の設置  
○障害者地域作業所の設置運営支援

【障害児放課後・余暇支援事業の実施】  
特別養護老人ホームの整備  
○成人保健の拡充（歯周疾患検診）  
【学校教育】  
○学校施設耐震診断・補強事業  
○不登校対策の充実  
○児童への安全指導  
【青少年育成】  
○子どもの家開館時間の延長  
【スポーツ・レクリエーション】  
○こもれび山崎温水プールの運営事業  
○見田記念体育館の運営  
○スポーツ振興基本計画の策定  
○スポーツ施設予約システムの導入  
【地域安全】  
○既成宅地等防災工事費の助成  
○放置自転車対策事業の充実  
○安全・安心まちづくり事業の推進  
【観光】  
○公衆トイレの整備  
○消防団無線整備事業の拡充  
○消防団器具置き場の建設  
【市街地整備】  
○鎌倉駅周辺地区の整備  
○深沢地域国鉄跡地周辺の整備  
○大船駅東口市街地再開発事業の推進  
○大船駅周辺整備構想の推進  
【道路整備】  
○生活道路の整備（小袋谷こ線橋補強工事等）  
○岩瀬今泉周辺交通対策（測量調査等）の実施  
○小町踏切改修事業の実施  
【地域情報化】  
○電子申請の推進  
○電子入札システム共同運営事業の実施  
【産業振興】  
○産業振興計画の推進（商店街元気UP事業）  
○モデル商店街整備事業の実施

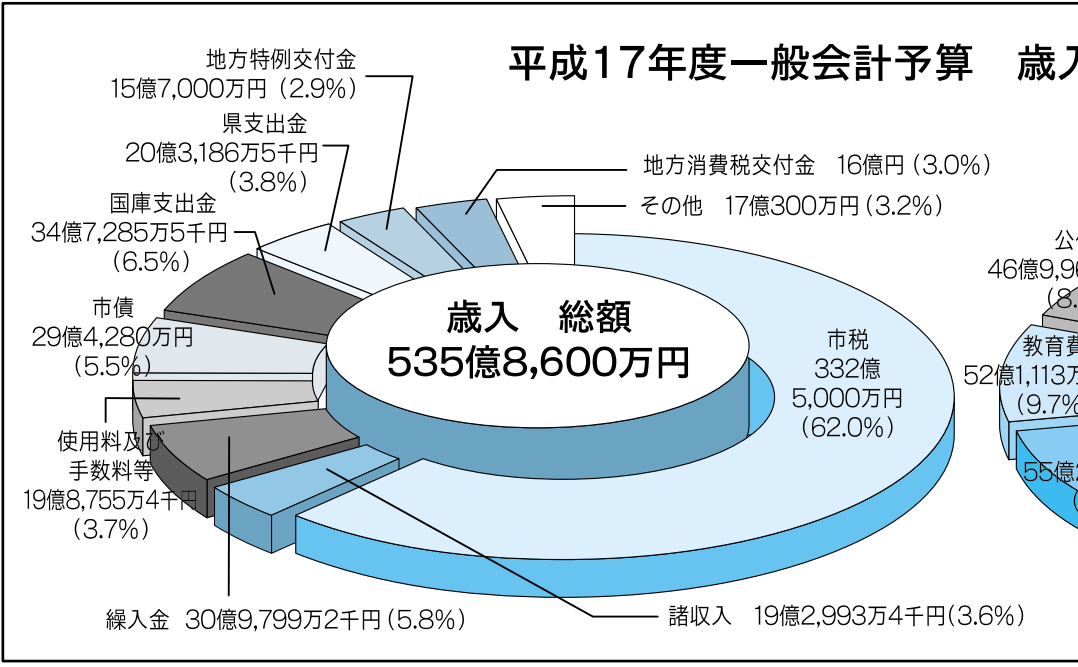
【障害児放課後・余暇支援事業の実施】  
特別養護老人ホームの整備  
○成人保健の拡充（歯周疾患検診）  
【学校教育】  
○学校施設耐震診断・補強事業  
○不登校対策の充実  
○児童への安全指導  
【青少年育成】  
○子どもの家開館時間の延長  
【スポーツ・レクリエーション】  
○こもれび山崎温水プールの運営事業  
○見田記念体育館の運営  
○スポーツ振興基本計画の策定  
○スポーツ施設予約システムの導入  
【地域安全】  
○既成宅地等防災工事費の助成  
○放置自転車対策事業の充実  
○安全・安心まちづくり事業の推進  
【観光】  
○公衆トイレの整備  
○消防団無線整備事業の拡充  
○消防団器具置き場の建設  
【市街地整備】  
○鎌倉駅周辺地区の整備  
○深沢地域国鉄跡地周辺の整備  
○大船駅東口市街地再開発事業の推進  
○大船駅周辺整備構想の推進  
【道路整備】  
○生活道路の整備（小袋谷こ線橋補強工事等）  
○岩瀬今泉周辺交通対策（測量調査等）の実施  
○小町踏切改修事業の実施  
【地域情報化】  
○電子申請の推進  
○電子入札システム共同運営事業の実施  
【産業振興】  
○産業振興計画の推進（商店街元気UP事業）  
○モデル商店街整備事業の実施

【障害児放課後・余暇支援事業の実施】  
特別養護老人ホームの整備  
○成人保健の拡充（歯周疾患検診）  
【学校教育】  
○学校施設耐震診断・補強事業  
○不登校対策の充実  
○児童への安全指導  
【青少年育成】  
○子どもの家開館時間の延長  
【スポーツ・レクリエーション】  
○こもれび山崎温水プールの運営事業  
○見田記念体育館の運営  
○スポーツ振興基本計画の策定  
○スポーツ施設予約システムの導入  
【地域安全】  
○既成宅地等防災工事費の助成  
○放置自転車対策事業の充実  
○安全・安心まちづくり事業の推進  
【観光】  
○公衆トイレの整備  
○消防団無線整備事業の拡充  
○消防団器具置き場の建設  
【市街地整備】  
○鎌倉駅周辺地区の整備  
○深沢地域国鉄跡地周辺の整備  
○大船駅東口市街地再開発事業の推進  
○大船駅周辺整備構想の推進  
【道路整備】  
○生活道路の整備（小袋谷こ線橋補強工事等）  
○岩瀬今泉周辺交通対策（測量調査等）の実施  
○小町踏切改修事業の実施  
【地域情報化】  
○電子申請の推進  
○電子入札システム共同運営事業の実施  
【産業振興】  
○産業振興計画の推進（商店街元気UP事業）  
○モデル商店街整備事業の実施

【障害児放課後・余暇支援事業の実施】  
特別養護老人ホームの整備  
○成人保健の拡充（歯周疾患検診）  
【学校教育】  
○学校施設耐震診断・補強事業  
○不登校対策の充実  
○児童への安全指導  
【青少年育成】  
○子どもの家開館時間の延長  
【スポーツ・レクリエーション】  
○こもれび山崎温水プールの運営事業  
○見田記念体育館の運営  
○スポーツ振興基本計画の策定  
○スポーツ施設予約システムの導入  
【地域安全】  
○既成宅地等防災工事費の助成  
○放置自転車対策事業の充実  
○安全・安心まちづくり事業の推進  
【観光】  
○公衆トイレの整備  
○消防団無線整備事業の拡充  
○消防団器具置き場の建設  
【市街地整備】  
○鎌倉駅周辺地区の整備  
○深沢地域国鉄跡地周辺の整備  
○大船駅東口市街地再開発事業の推進  
○大船駅周辺整備構想の推進  
【道路整備】  
○生活道路の整備（小袋谷こ線橋補強工事等）  
○岩瀬今泉周辺交通対策（測量調査等）の実施  
○小町踏切改修事業の実施  
【地域情報化】  
○電子申請の推進  
○電子入札システム共同運営事業の実施  
【産業振興】  
○産業振興計画の推進（商店街元気UP事業）  
○モデル商店街整備事業の実施

平成17年度予算総括表（前年度当初予算との比較）  
(単位：千円、%)

会 計 名	平成17年度	平成16年度	比 較	伸び率
一 般 会 計 (減税補てん債借り換え分を除く)	53,586,000 (53,586,000)	58,580,000 (53,250,000)	△4,994,000 (336,000)	△8.5 (0.6)
特 別 会 計				
下 水 道 事 業	9,056,700	9,154,800	△98,100	△1.1
大船駅東口市街地再開発事業	353,300	357,800	△4,500	△1.3
国民健康保険事業	13,725,900	13,148,000	577,900	4.4
老人保健医療事業	16,105,100	16,451,500	△346,400	△2.1
公共用地先行取得事業	828,500	1,297,300	△468,800	△36.1
介護保険事業	9,672,900	8,768,600	904,300	10.3
特別会計合計	49,742,400	49,178,000	564,400	1.1
総 合 計 (減税補てん債借り換え分を除く)	103,328,400 (103,328,400)	107,758,000 (102,428,000)	△4,429,600 (900,400)	△4.1 (0.9)



### 新年度予算に対する評価と見解

# 民政クラブ

民政クラブは、平成十七年度鎌倉市一般会計予算ほか関連諸議案すべてについて賛成しました。

厳しい財政状況のもと、環境保全のため、広町緑地の買収、さらには台峯緑地の全面保全の方向性を打ち出し、今後ますます長期の財政負担が増える中で、「行政改革による財源の生み出し」と、「健全なる財政基盤を築くための収入増の施策」の両面に取り組んでいく必要があるという観点から、さまざまな意見や要望をいたしました。

#### 【行政改革】

行政サービスの公費負担が公平、かつ妥当であるかとの視点で、受益者負担の原則に基づいて、そのサービスの利用者によって適正な財政負担をもらっているのかを数量的にきちんと評価するように求めました。

また、職員数の適正化は、計画的に退職者の一部不補充で順次削減してきていることを高く評価しています。今後さらに第二次職員数適正化計画に取り組み、さらなる小さな市役所」の早期実現を要求しました。事務事業のコストダウンの実現のために、民間活力、パートタイマー、NPOの積極的活用を図るべきだと提言しました。特に市民要望の多い、坂ノ下地区の温水プール、多目的広場、さらには大駐車場の複合施設の建設はPFIの手法で行うよう提言をいたしました。

#### 【収入増対策】

環境に優しい煙の出ない産業の誘致を積極的に図るために企業誘致政策に取り組むことを強く求めました。企業誘致については、その必要性を市長も認め、企業誘致について積極的に取り組むとの答弁を引き出しました。また、若い人に定住しやすい鎌倉づくりでは、子育て支援策や住宅政策の具体的実現を要望しました。

#### 【電子自治体の早期実現】

住民票、印鑑証明、納税、各種申請等、自宅やコンビニからサービスを受けられることが早期に実現するよう要望をいたしました。また、電子自治体の実現により業

務の効率化と事務事業のコストの削減がどの程度できるのか、市民の前に明らかにするよう要望しました。

#### 【子育て支援について】

小学校就学までの子育て支援で、保育園、幼稚園、在宅子育てのさまざまな育児法に対して公的支援の公平性から見ても、それぞれの支援について比較すると大きな格差があるので、これを是正する必要があることを指摘しました。市長もこれを認め、今後これらの支援について、見直しをするとの答弁を引き出しました。

#### 【深沢地域国鉄跡地周辺整備】

健全な財政基盤を確立するために産業誘致は極めて重要なことと考えています。市長も収入増の施策として、産業誘致について検討をしていくとの前向きな答弁を引き出しました。

#### 【大船駅周辺の整備】

大船駅北口開設が間近になり、大船駅東口都市再開発事業の早期着手の必要性を主張し、また、大船駅西口整備については、バスターミナルの改良工事、駐車、駐輪の取締りの強化など、交通渋滞対策を短期的な課題として取り組むよう要望しました。当面の対策として十七年度で対応することになりました。小袋谷緑橋は大きな地震により崩壊し、横須賀線との大きな事故を誘発する可能性のある極めて危険度の高い線橋であるので、早急に改修工事をするよう要望しました。本格的な架け替え工事については、平成二十六年年度完成との答弁がありました。

#### 【福祉関係】

介護保険制度が今年より変更されるに伴い、低所得者に対する軽減措置を鎌倉市はどのように検討しているのか、質しました。稲村方崎と今泉台に建設される特別養護老人ホームの建設への確実な取り組みを要望しました。また、知的障害者グループホームの家賃助成について、平成十五年六月に陳情が提出され、全会一致で採択した経過を踏まえて、早急に実現するよう強く要望しました。

### 新年度予算に対する評価と見解

# 日本共産党

石渡市長は、新年度予算について、「子どもたちの未来のために」新生鎌倉創造予算」と述べています。この予算には、わが党が市民とともに実現を求めている特別養護老人ホームの整備や小児医療費助成の拡充、容器包装プラスチック分別収集の全市実施、今泉消防出張所の建設準備などの予算が盛り込まれています。

わが党は、このように市民の要望にこたえた予算には賛成であり、これを評価するものです。しかしわが党は、新年度予算には、「新生鎌倉創造予算」とはとうてい言えない次のような重大な問題点があることを指摘するものです。

#### 【すさまじい「痛み」おしつけ】

平成十七年度の個人市民税は、増税分を除くと、昨年より八億五千万円減少しています。これは、市民の昨年の収入が一昨年より大幅に減少していることを示しています。ところが平成十七年度の市の収入は、昨年より約九千万円の増収となつています。この増収は、配偶者特別控除の廃止による三億三千万円の増収などによる増収であり、収入減という「痛み」に苦しむ市民の上にもう一つの「痛み」を重ねることによって得られた増収です。しかも、このもう一つの「痛み」は、さらに激しい「痛み」への第一歩です。平成十九年度までに定率減税の縮小、廃止、住民税増額などが決まり、市民への増税額は、全体として四七億円をこえます。しかもこれにともなう、福祉、介護、保険など三七項目に及んで市民の自己負担分がふえるのです。

#### 【痛み」を押しつける側の石渡市政】

市民がこのようなすさまじい「痛み」にさらされている時、市政はどうあるべきか、まさしく市政の真価が問われているといえます。わが党は、このときこそ、市政は、地方自治体の本務である「住民福祉の増進を図る」立場にしっかりと立ち、つべきであると強く主張しました。ところが石渡市長は、市民へのこの増税おしつけへの批判は一切おこなわず、むしろこれを容認する姿勢を示し、わが党の市民負担軽減の提案に耳を傾けることを

しませんでした。わが党は、このような石渡市長の政治姿勢を厳しく批判するものです。

#### 【何でも「民間委託」は誤り】

市は、大船保育園の給食調理業務の民間委託を進めようとしています。経費削減の点では、わが党が指摘したとおり、ベテランと若手職員の配置を図って正規の職員を雇用して直営で行うほうが民間委託より経費が少なく済み、しかもよい食育ができます。しかし市は、それでもなお民間委託を進めようとしています。わが党は、何が何でも民間委託と職員減らしを優先させるのは誤りであることを厳しく指摘し、その姿勢を改めるよう強く求めるものです。

#### 【公務に支障をきたす職員減らし】

わが党は、今泉消防出張所の建設に賛成です。しかし市が、建設が必要となる消防職員二〇名の増員はしないとされていることは許せません。消防職員は、市民の生命・財産の安全をはかる大切な使命を持つ職員です。大災害が相次ぎ、それがいつ関東を直撃しても不思議ではないとされている今、人減らしを最優先させるとこのような本末転倒の行政運営は誤りであり、わが党はこれを厳しく批判するとともに必要な職員確保を強く求めるものです。

#### 【大船駅東口再開発事業 地権者と深い協議を】

大船駅東口市街地再開発事業は、一九〇億円の大事業です。この大事業をやりとげるには、何よりも地元地権者の強い意志と熱意が決定的に重要です。ところが市は、地権者と開発に確信を持てるような深い検討を行っておらず、また、市として当然行うべき庁内協議や財政上の検討を行っていません。このような状態で大船駅東口再開発事業を首尾よく進めることなど到底できるものではありません。わが党は、石渡市長にこのことを厳しく指摘するとともに、地権者の意向を深く、正確に掌握し、本事業の基礎的諸条件の整備に力をつくすことを強く求めるものです。

### 新年度予算に対する評価と見解

# 公明党

公明党鎌倉市議会議員団は、平成十七年度鎌倉市一般会計予算ほか諸議案について、市財政が一段と厳しい中で市民要望にも的確に対応した予算であると評価し、賛成しました。以下見解を述べます。

#### 【人口問題】

本市の人口は、平成三十七年には約十三万七千人と推計されています。うち年少人口比率は平成十六年一月現在の一一・三％から六・四％と半減、老年人口比率は二二・三％から三五・一％と約一二％の増加が見込まれています。こうした人口減少や人口構成の変化がこれからの本市に与える影響は誠に重大です。今後の人口とその構成バランスを十分に見極め、人口誘導策、子育て世代を中心とした人口流出の抑制などの諸施策を効果的に推進し、十分に検証しながら活力あるまちづくりを目指すよう要望しました。

#### 【自治基本条例の早期制定】

第三次鎌倉市総合計画次期基本計画の策定に当たっては、自治体の主役である市民が参加するためのルールづくりが求められています。地方自治の憲法とも言えるべき自治基本条例の早期制定を要望しました。

#### 【深沢地域国鉄跡地周辺整備事業の推進】

旧国鉄清算事業団跡地の鉛汚染土壌分析調査と処理を早期に実施し、事業計画策定業務委託を円滑に推進するとともに、面整備ゾーンにおける本事業の規模・機能について、本格的な絞り込み作業を推進するよう要望しました。

#### 【保健医療福祉センターの整備】

このセンター構想は本市の長年の課題でした。本年度はより専門的な立場から規模・機能の検討を行い、市民の健康と疾病予防の促進及び医療費の節減などに対処できるよう早期の事業推進を強く要望しました。なお、この構想が、深沢のまちづくり計画の中で検討されること明らかになったことを評価しました。

#### 【野村総合研究所跡地の整備計画】

この事業の成否は、既存施設の活用と民間参入が重要な視点です。事業者アンケートでは、この事業に興味を示しているものの、さまざまな課題も指摘されています。市は、民間参入がより容易になる諸方策を前向きに検討し、本年度の早い時期に基本計画の策定に取り組むよう要望しました。

平成十二年度にスタートした本事業は、十六年七月末の認定者数が約六千五百名と予想外に増加しました。うち要支援と要介護1が約半数を占め、介護予防の大切さが検証されました。今注目されている筋肉トレーニングは米国でも筋力の倍増が検証され、県内でも横浜市などで実用化を目指しています。本市も率先して早期に導入し、サービス給付費の軽減や認定者数の減少を目指し、介護予防に取り組むよう強く要望しました。

#### 【小児医療制度（無料化）の拡充】

今回の条例改正により、一歳から就学前までの所得制限が撤廃されました。予算も約七千万円増額され、新たに二千四百六十名が対象となり、合計九千二百四十名がこの制度に該当することになると想定されています。少子化、子育て施策の充実を高く評価しました。今後も医療費負担が増加傾向の中で、対象年齢の拡大など本制度のさらなる拡充に努力するよう要望しました。

#### 【子どもの読書環境の充実】

図書館司書や司書教諭など、専門性の高い読書活動を推進するとともに、本年度から始まるブックスタート事業についても、子育て支援活動の一つとして積極的に取り組みを要望しました。

#### 【学校の安全対策に学校警備員の配置】

このことは予算特別委員長報告にも盛り込まれました。昨今、池田小や寝屋川小における児童・教師への殺傷事件を通じて、人格や生命の大切さを再認識していく視点が求められています。したがって、学校の安全性をより高めていく必要性が不可欠です。

#### 【学校安全対策に学校警備員の配置】

そこで有効な手法の一つとして、専門性も加味した学校警備員（スクールガード）の配置を積極的に検討し、早期導入を推進するよう強く要望しました。

### 新年度予算に対する評価と見解

# 改革鎌倉

改革鎌倉は、平成十七年度鎌倉市一般会計予算について意見が分かれたが、その他の議案については賛成しました。以下、その評価と見解について述べます。

#### 【行財政改革について】

地方分権が進む中、鎌倉市は地方自治体として、しっかりと自立をしていくという認識を、さらに高めていく必要があります。

そのためには、まず情報公開の推進、それに伴う行政の透明性を確保することです。今までは、確かに非公開の交渉などで成果を挙げたこともあったかもしれませんが、それこそが政治の醍醐味という見方もありました。しかしながら、これからはその手法は通用しなくなつてきます。市民に対して、説明できないような手法は排除され、しっかりと市民に見えて理解が得られるよう、正しいルールにのっとった行政運営を行っていくことが求められるからです。

また、もう一つ大事なことは民営化の推進です。鎌倉市の人件費は、平成十五年度の全国データでいくと、全国六百八十九市中、高い方から数えて十三番目という高水準に位置しています。これは一般職員のラスパイルズ指数が百を切っていることを考えると、事業の民間委託が進んでいないことを意味するとも読めます。鎌倉市では行革推進本部会議において、『公的関与の基本的な考え方』を打ち出しており、そこには「民間でできることは民間に委ねることを基本に、行政と民間との役割分担の観点から、行政の関与は必要最小限とする」と明記してあります。この基本的な考え方に基づき、事業の民営化への検討をさらなるスピード感をもって推し進めるべきです。

#### 【窓口サービスについて】

私達が、自分でアンケートをとったところ、土・日曜日にも市役所の窓口を開けるべきだという方は、四十九人中、四十二人いました。またその一方で、行政コストの大幅な増加は避けるべきだという意見も多数ありました。スライド勤務、土・日曜日の振替等の活用により、人件

費を抑えた中で窓口の土・日曜日開設、平日の時間延長、また、電子申請・許可の導入を要望しました。

#### 【子育て支援について】

「鎌倉は子育てがしやすい」と聞くことが多くあり、その原因は多岐にわたっていますが、その中の一つとして、小児救急医療の問題があります。次世代育成支援行動計画の素案により「小児救急医療については、市内の病院でも、夜間・休日に受診できるようにすること」とあり、市内の小児医療二十四時間体制の確立について要望しました。また、出産時にまとまったお金が用意できない場合に多くの自治体で、出産費貸付制度を独自に創設しています。鎌倉市では、限定的に委任払いを行っています。その制度のさらなる柔軟な運用と拡大を要望しました。

#### 【教育について】

学校週五日制、ゆとり教育、年間授業時数の大幅減少、学力の低下、ひいては青少年の非行、犯罪の増加等々、近年さまざまな問題が表面化してきた矢先、OECDが実施した「生徒の学習到達度調査」で日本の高校一年生は実施四分野のうち、「読解力」、「数学的应用力」が低下したことが分かりました。こうしたことから脱却するためには、授業を児童生徒に理解できるように、先生方に指導して頂くことがポイントだと思えます。そうした観点から、教師のより一層の指導力の向上に向けた、工夫・取り組みを要望しました。

また、学校を狙った悪質な事件が後を絶たない中、生徒の安全確保のため、警備員を小学校十六校全校へ配置することを要望しました。

さらに、小学校での朝の読書の時間は、とても素晴らしいです。この読書への関心の高まりから、学校図書推進委員を十六校に常駐させて、学校図書室の蔵書充実を要望しました。最後に不登校の問題について、教育支援室、教育センター相談室を学校の敷地外の施設へ移動するよう要望しました。

### 新年度予算に対する評価と見解

# 鎌倉同志会

鎌倉同志会は平成十七年度鎌倉市一般会計予算ほか提案されたすべての議案について賛成しました。限られた財源の中で、事務事業の見直しや、経常経費の削減、さまざまな子育て支援施策や福祉施策の充実、防災・防犯など市民の安全・安心確保に向けた取り組み、都市基盤整備など、総合的に勘案した予算配分に配慮した石渡市長の新年度予算を、鎌倉同志会は高く評価しています。

#### 【健全な財政運営を目指して】

今後とも大幅な増収は見込めない社会情勢下で、累積した地方債を削減し、将来にわたって持続可能な財政基盤を維持しようとする財政再建に取り組む自治体が増加しています。本市も、平成十七年度末見込みで市債は千六億円になります。一方歳入の根幹を成す市税のうち、市民税は人口の増加もあって対前年度比〇・七％増になっていますが、法人市民税は業績の低迷で十三・八％の減と大幅に落ち込んでいます。幸い本市はまだ自主財源比率等に余力を残しています。余力のある今のうちに健全な財政運営が維持できるよう、計画的・効率的な財政運営に努め本格的な財政再建に取り組むことを要望しました。

#### 【被災時に職員の迅速な対応を】

昨年、台風二十二号で大きな被害を受けた際、市の初動体制が遅れ、混乱したことを反省し、地震災害初動時職員行動マニュアルを早速作成した点は評価しますが、実際に職員がマニュアルどおり行動できるかが問題です。神戸市の消防職員は体験談の中で「パニック状態の時でも迅速・的確に行動するには普段からの訓練の積み重ねが何より大切だ。」と強調しています。職員がマニュアルに基づいて迅速・的確な行動ができるよう定期的に訓練を実施することを要望しました。

#### 【自主防災組織への助成支援を】

いざというとき地域住民の団結がいかに大切であるかが、全国各地の災害被災地で立証されています。住民が協力し合って活動することは地域の中での助け合いの気風が育まれることにもなり、本市も

自主防災組織への支援を強化し、さらなる団結と組織の強化を図る必要があると提案しました。

#### 【今泉消防出張所の建設に向けて】

これまで消防・救急体制の活動圏外にあり消防車・救急車の到着に時間が掛かっていた今泉地区に、消防出張所設置の方針が決まり予算化されたことを評価しています。また、現在の消防職員配置を見直すことで新設の消防出張所への配置をしていく取り組みを高く評価しています。地域住民の強い要望に応え、計画どおり実現させるよう強く要望しました。

#### 【子どもたちを危険から守るために】

近年、子どもが被害者となる凶悪犯罪が増加し、学校内でも児童が襲われるなど、保護者の心配はますます深刻で、「子どもを危険から守る対策を早急に取って欲しい」と強く要望しています。新年度から市内在住・在学の児童・生徒全員に防犯ブザーを配布するとともに、不審者等から身を守るための対応プログラム(CAP)を児童・生徒と保護者にも実施することになっていますが、それだけに子どもたちを危険から守るための手段を検討し、万全の策を講じるよう強く要望しました。

#### 【特養ホーム入所待機者の解消】

現在、特別養護老人ホームへの入所待機者は六百名を超えており、入所待機者の数は年々増加しています。現在、建設が予定されている今泉と稲村ガ崎の両施設が十八年度に完成しても焼け石に水の状況です。入所待機者の解消を図るため、施設の建設に向けた積極的な取り組みを強く要望しました。

#### 【高齢者福祉の充実に向けて】

元気な高齢者には、その健康維持のためできるだけ外出の機会を持つていただきたいと、高齢者割引乗車証等を購入する際七十五歳以上の方に二千円の助成をしています。昨年は約二千三百名の方が利用していますが、さらに多くの方が利用できるような年齢制限の緩和、助成額の見直しなど、さらなる充実を要望しました。

### 新年度予算に対する評価と見解

# ネットワーク鎌倉

神奈川県ネットワーク運動・鎌倉は、二〇〇五年度鎌倉市一般会計予算には反対の諸議案には賛成しました。

#### 【公立学校を地域の核に】

公立学校の良さは、地域コミュニティの核となる地理的条件と、家庭環境が異なる個性が集まることにより子どもたちに小さな社会を体験させることにあります。学区撤廃という声も聞かれますが、児童・生徒の安全対策の面からも、学区制の良さを生かした学校運営が必要だと思います。また、多様な個性の子どもたちを受け入れていくために普通学級介助員制度の充実を主張しました。

#### 【市長のリーダーシップが見えないごみ問題】

石渡市政は、実現目だったごみ半減計画を足踏みさせたまま、ごみ問題から目を背けています。循環型社会形成推進基本法を踏まえた一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみ減量に努力するとともに、生ごみをバイオガス化する資源化施設等の施設整備計画をあわせて策定すべきですが、そのチャートすら示されないままです。ごみ半減に向けた審議会答申を棚上げした市長には、十年後を見据えた脱焼却・発生抑制を基本としたごみ施策についてのリーダーシップが全く見られません。一日も早くごみ半減を実現させ、その時点で、老朽化が著しい今泉の焼却場を停止することを求めます。

【子育て支援の基本的なスタンスは】女性が働くことも子どもを持つことも選べる社会をつくることこそ、少子化対策の肝要です。そのためには、保育園の待機児童の解消や一時保育の充実が必要であり、待機児童の受け皿になっている無認可・無認定の民間保育施設への一定の助成も急務です。新年度、在宅で子どもを育てている家庭が家事支援を頼むと市から助成金を出すという「在宅子育て家庭訪問支援事業」がスタートしますが、子どもは家で母親が育てるべきだという「三歳児神話」の復活につながるような配慮を求めました。また、障害児の療育相談のように必要不可欠な事業への予算が少なく、専門家による相談が受けにくい現状の改善を求めました。

#### 【九九と高齢化が進む分譲地で、地域福祉のモデルづくりを】

開発されて三十年ないし四十年たった住宅地では、高齢化率四十％という地域が出現しています。独居高齢者も多く、地域コミュニティの担い手の高齢化は、いざという時の防災・防犯体制にも影響します。未経験の高齢化現象を先取りしている事例について検討・研究を始めるべきです。さらに、民間の空き家を福祉の拠点として活用するシステムについての検討を促しました。

【選挙公約の女性助役実現せず】「女性助役の登用」は、石渡市長の選挙公約の目玉でした。しかし、具体の提案はまったくありません。市長の任期もこの秋で終わります。有権者への単なるリッパサービスだったと考えたくはありませんが、公約の重みを今一度自覚していただきたいと思います。市長就任後の二三年を見ても、五級職以上の職員に占める女性の数は増えていません。女性だからというだけで優遇する必要はありませんが、男性・女性にかかわらず適材適所の職員配置に努めること、政策立案にかかわる仕事にも意欲ある女性職員を登用するなどの配慮は必要です。

# 議決した条例関係議案

## 議員提案による条例制定議案は否決

二月九日の本会議において議員提案による条例制定議案一件と市長から条例制定議案二件及び条例の一部を改正するための議案四件が提出されました。議案四件は審査の結果、議員提案による条例制定議案は少数の賛成により否決、市長から提案された条例制定議案及び条例の一部を改正するための議案は総員の賛成により可決しました。

### ◎議員等の行政運営に係る要望等の手続に関する条例

本市職員の事務処理に関して議員等から要望を受けた場合、軽易な事項を除き、その要望等の内容を書面に記録し、上司に報告することにより、行政運営の透明性の向上を図ることを目的として必要な事項を定めようとするものです。

### ◎鎌倉市文化財保護条例

文化財保護法の改正に伴い、鎌倉市文化財保護条例における文化財の定義、市指定文化財等について内容の見直しを行うとともに新たに市選定保存技術者を規定し、文化財保護法及び神奈川県文化財保護条例との整合を図るため、全部を改正し、新たに制定するものです。

### ◎鎌倉市市税条例

不動産登記法の改正により、地方税法が改正されたことにより、表現整備をするものです。

### ◎鎌倉市子どもの家条例

子どもの家の利用時間を平日午後七時まで延長することに伴い、当該延長時間の利用料を定めるものです。

### ◎鎌倉市緑の保全及び創造に関する条例及び鎌倉市まちづくり条例

都市緑地保全法の一部改正により、法律の名称が「都市緑地法」に改正されたことにより、鎌倉市緑の保全及び創造に関する条例及び「鎌倉市まちづくり条例」について、引用条項の整備を行うものです。

### ◎鎌倉市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

昨年十二月十六日に笛田三丁目地区地区計画を決定したことにより、地区計画の実効性を高めるため、地区整備計画に定められた「建築物の用途の制限」及び「建築物の敷地面積の最低限度」についての制限事項を同条例に追加するものです。

その他、市道路線の廃止・認定議案及び不動産（特別養護老人ホーム用地、稲村ガ崎四丁目）の取得議案についても総員の賛成により可決しました。

### ◎鎌倉市市職定数条例

また、二月二十四日の本会議において市長から新たな条例制定の議案一件と新年度予算に関する議案一件として、条例の一部を改正するための議案六件と議員から決議議案一件が提出されました。

### ◎鎌倉市職定数条例

このうち、鎌倉市緑の基本計画に基づき緑地保全推進地区に指定されている緑地を可能な限り全面保全できるよう行政として最大限の努力を行うことを求めることに係る決議議案については、議案提出後、決議内容と情勢間に変化があり、撤回したいとの申し出があり、議会もこれを承認しました。（※議案の撤回については文末参照）

### ◎鎌倉市小児の医療費の助成に関する条例

地方自治法の一部改正により、長期継続契約の対象範囲が拡大され、物品を借り入れ、または、役務の提供を受ける契約のうち、

### ◎鎌倉市児童手当条例

職員定数条例については多数の賛成により、その他の議案については、総員の賛成により可決しました。

### ◎鎌倉市小児の医療費の助成に関する条例

現在、就学前までの児童の入院・通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を、

### ◎鎌倉市小児の医療費の助成に関する条例

現在、就学前までの児童の入院・通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を、

条例で定めるものについては、長期継続契約を締結することが可能となったため、対象となる契約について条例を制定するものです。

### ◎鎌倉市常勤特別職職員の給与に関する条例

市長、助役、収入役、教育長（以下、市長等）及び議会議員の期末手当について支給率の規定の整備を行うもので、年間の支給率は一般職員と同様の四・四カ月分とするものです。ただし、市長等は当分の間、暫定措置として年間の支給率を三・二五カ月分とします。

### ◎鎌倉市定額資金運用基金条例

市職員が共通で使用している消耗品等の在庫物品は、定額資金運用基金の物品購入基金により運用していましたが、在庫物品を廃止することに伴い、物品購入基金にかかる条項の削除及び規定の整備をするもので、あわせて、条例の名称を「土地開発基金条例」とするものです。

### ◎鎌倉市職員定数条例

職員数適正化計画を推進した結果、条例で定める職員数が定数と実員数との間に差が生じ、さらに職員数の適正化を進める予定から、市長の事務部局をはじめとする各部局の定数一千八百七十三人を、四月一日の予定職員数一千五百五十七人に変更するとともに、教育委員会の事務部局の内数としていた指導主任の定数を削除するものです。

### ◎鎌倉市手数料条例

現在、無料としている固定資産名寄帳の閲覧については、受益者負担の適正化の観点から手数料三百円を徴収するため、規定の整備を行うものです。

### ◎鎌倉市小児の医療費の助成に関する条例

現在、就学前までの児童の入院・通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を、

### ◎鎌倉市小児の医療費の助成に関する条例

現在、就学前までの児童の入院・通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を、

## 補正予算

今定例会に平成十六年度一般会計及び下水道事業特別会計など六特別会計の補正予算議案が提出されました。審議の結果、多数で、その他の補正予算を総員の賛成により可決しました。

### ◎一般会計

補正の内容は歳入歳出いずれも五億一千八百八十万円を追加するもので、補正後の総額は六百七億五千九百七十万円となります。

### ◎下水道事業特別会計

各特別会計の補正後の総額は次のとおりです。

### ◎大船駅東口市街地再開発事業特別会計

三億三千八百九十万円

### ◎国民健康保険事業特別会計

百三十一億六千六百万円

### ◎老人保健医療事業特別会計

百六十三億三千八百万円

### ◎公共用地先行取得事業特別会計

七億九千七百三十万円

### ◎介護保険事業特別会計

九十二億三百二十万円

## 陳情を不採択

鎌倉市議会の議員定数の削減についての陳情

市の現状は、時代の大きな転換期の中で長期にわたって身動きのできない閉塞感に包まれ、行政や政治の分野はもとより市内各分野、市民各層に至るまでこのような空気がびまんしていることは憂慮にたえず、この状況を打開するためには、市議会が率先して議員定数を現行の二十八名から二十名に削減し、市政刷新の範を垂れることが必要であり、今春四月に実施される市議会議員選挙から適用してほしいというものです。

### 【議会運営委員会における審査】

本陳情は、二月九日の本会議において議会運営委員会に付託され、同月十八日に審査した結果、次のような相違する意見に分かれました。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

いく必要があることから、本陳情は継続審査とすべきであるとする意見です。

もう一つは、議員定数はいかにあるべきかは、財政論だけでなく、議会のあり方を含め議論を深めていく必要があること、定数の削減は市民の政治への参加の権利が少なくなり、量、質ともに後退することになるが、もう少し十分な審査を行うとしても議員の任期が切れることなどから難しいこと、議員定数を削減するという方向性については理解するが、削減の基準や考え方を整理するために議論する時間が必要であり、現行の二十八名から二十名に削減することはいかに、などの理由から、本陳情は不採択とすべきであるという意見です。

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

### 【本会議においても不採択】

二月二十四日の本会議において、議会運営委員長から審査結果、多数をもって不採択とした。

## 編集後記

議会広報委員会では、昨年十一月より、市議会のインターネット中継導入についての可能性を議論し、このたび、その方向性をまとめ、議長に提出しました。このまとめは、次期の任期へと受け継がれる予定です。すでにインターネット中継を導入している、逗子・横須賀・川崎などからは、遅れをとってしまいました。後発の強みを発揮し、市民にとって、より良いものが導入できることを切に願っております。さて、今号にある、新年度

- |      |         |
|------|---------|
| 委員   | 小田嶋敏浩   |
| 委員   | 中村聡一郎   |
| 委員   | 伊東 正博   |
| 委員   | 大石 和久   |
| 委員長  | 三輪裕美子   |
| 副委員長 | 松尾 崇    |
| 委員   | 議会広報委員会 |

予算を審議した二月定例会は任期最後の議会でした。この四年間で市民の方に愛される議会だよりを目指し、会派別議決結果の一覧表掲載や、分かりやすい表現の採用、一面への公募による写真掲載等、工夫をしてみました。いかがでしたでしょうか？感想をお待ちしております。(T・M)

予算を審議した二月定例会は任期最後の議会でした。この四年間で市民の方に愛される議会だよりを目指し、会派別議決結果の一覧表掲載や、分かりやすい表現の採用、一面への公募による写真掲載等、工夫をしてみました。いかがでしたでしょうか？感想をお待ちしております。(T・M)